上尾市立尾山台小学校だより 第 11 号 発行日 令和 5 年 2 月 28 日 文責 校長 熊坂 由美子

尾山台小だより

３月号

学校教育目標【明るい子 考える子 たくましい子】

～確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童の育成～

〔尾山台小ホームページ〕http://www.city.ageo.lg.jp/site/oyamadai-elementaryschool/
または、「上尾市」ホームページ→「上尾市立幼小中学校」→「尾山台小学校」をクリック

～今、自分にできることは何か～「夢」に向かって進み出そう

校　長　熊坂　由美子

３月は、今の学年で行う行事や授業など、様々なことが「これで最後」という時期になり、なんとなくソワソワするような、寂しくなるような、そんな季節です。特に６年生は「小学校生活がこれで終わる」という、大きな節目を迎えています。

本校のＰＴＡ広報誌の卒業お祝い号の中で、「中学生になってがんばりたいこと」を６年生一人一人が書く項目がありました。発行前の原稿を確認すると、９割近くの子が「勉強」と書いていて、予想以上の多さに驚きました。次に、「部活」、「勉強と部活の両立」等ありましたが、圧倒的に「勉強」を頑張ろうと思っている子が多いことが分かりました。みんな、中学生へ向けて、やる気が満ちていてすばらしいです。

本年度最後の生活集会では『ハチドリのひとしずく～いま、私にできること～』の絵本を紹介しました。森火事に一滴ずつ水を運ぶハチドリに対して、森から逃げた動物たちは「そんなことして何になるのだ」と笑いますが、ハチドリは、「私は、私にできることをしているだけ」と答えるというお話です。

この絵本は２００５年に発行されてから静かなブームが起こりました。南米アンデス地方に古くから伝わるお話ですが、小さな力の大切さを教えてくれるとして、環境問題を考えたり、企業での働き方を考える手段として使われたりしているようです。私もこの絵本との出会いは１０年ほど前なのですが、時々読み返しては、大切にしている本です。

子供たちには、「今、自分にできることは何か」を考えて、目の前の目標へこつこつと向かうことの大切さを考えてほしいと思います。そして周囲の大人は、子供が思い立って動き始めたら、あの森の動物たちのように「そんなことをして何になるんだ」と言うのではなく、小さな希望の芽をつぶさず、育んでいけるよう温かく見守り、励ましたいものです。大きな夢を、堂々と語れる子供たちになってほしいと思います。

６年生にとっては、その大きな夢の始まりが、中学校で「勉強や部活を頑張ること」なのではないかと感じています。夢を叶えるには時間がかかります。近道はありません。日々の小さなことの積み重ねでしか夢はつかめないのではないでしょうか。すべての子供たちが、自分の夢に向かって勇気をもって進み出し、夢を叶えられることを願っています。

～・～

保護者の皆様、地域の皆様には、令和４年度も、尾山台小学校の教育活動への御理解と御協力、誠にありがとうございました。令和５年度も「笑顔あふれる尾山台小」「地域に信頼され、活力に満ちた尾山台小」を目指して取り組んでまいります。今後とも、よろしくお願い申し上げます。